

2014年度 水俣学講義 (2015年1月15日)

「失敗の教訓」を将来に活かす
 ~急激な開発/工業化が進むタイでの取り組み~

熊本学園大学水俣学研究センター
 宮北 隆志

2015/1/15 1

水俣学とは

- ✓ 「失敗の教訓」を将来に活かす学問です
- ✓ 専門の枠組みを超えた学際的な学問です
- ✓ 「素人」と「専門家」の枠組みを越え、すべての生活者に開かれた学問です
- ✓ 豊富な真実のある現場に根ざした学問です

↓

- ✓ 全ての成果を地元に戻元し、世界に発信する学問です
- ✓ 一人ひとりの生き方と、現在の社会・経済システムのあり方を問い直す学問です

2015/1/15 2

環境被害に関する国際フォーラム

第1回国際フォーラム (2006年9月)



世界14の国・地域からの参加者



チッソ正門前の抗議活動

第2回国際フォーラム (2013年9月)



タイ・マブタブット住民のノイさん



水俣での総括セッション (2013年9月) 3

2015/1/15 3



2015/1/15 4

結論 (今後の課題)

水俣病事件に向き合う中で、2011年3月11日の福島第一原発事故を経験し、また、同時に、国内外の環境被害(公害被害/健康被害)と直面する現場に足を運ぶ中で、今あらためて強く感じることに

⇒ 地域の自立的発展に必要な4つの視点

2015/1/15 5

地域の自立的発展に向けた4つの視点

1. 「予防原則」に基づいた初期対応の重要性を再確認する

→健康被害が顕在化してからでは遅い

水俣病事件の初期対応をめぐる問題点:

- ①自然界の異変を軽視 (チッソ・熊本県・国)
- ②ネコ実験の結果を隠ぺい/黙認 (チッソ・熊本県・国)
- ③食品衛生法の不適用 (熊本県・国)
- ④本人申請主義 (熊本県・国)

⇒ 坂東 克彦氏 (2014年度水俣学講義 第8回)

2015/1/15 6

地域の自立的発展に向けた4つの視点

2. 中央（「国」）と周縁部（「地方」）という構造

キーワードは、「見下し」/「植民地化」

現状：「中央」から見下された「地方」に、「差別と犠牲」が押しつけられている

⇒ 地域の内発的な発展（地域力の醸成）を阻害する近代化（開発と工業化）

事例として、

マブタプット工業団地（タイ）

ティワラやダウェイの大規模開発（ミャンマー）

水俣、福島、沖縄（日本）

2015/1/15

7

今、私たちに求められていることは？

① 地域の風土・歴史・文化に根ざした地域固有の解決策を見出し、

② それを外に開き、グローバルに共有することによって、

③ 一つひとつの、ひとり一人の命の尊厳が保たれる社会の実現に粘り強く取り組んでいくこと。

Think Locally, Act Globally !

2015/1/15

8

3. 新たな民主主義の確立 ①

現状：社会的合意形成の「仕組み」をどう作り上げるかという課題に対する様々な試み

・ 様々な利害関係者の交流、相互理解、合意形成の場としての「円卓会議」や「プラットフォーム」 ⇒ 水俣・芦北地域戦略プラットフォーム（潤滑油としての水俣学現地研究センター）

・ 情報共有と対話、論点整理、社会的発信のツールとしての「リスクコミュニケーション」

⇒ マブタプット問題 ” 工業団地と地域の共存 ” をテーマとして

2015/1/15

9

3. 新たな民主主義の確立 ②

現状：社会的合意形成の「仕組み」をどう作り上げるかという課題に対する様々な試み

・ 「健康」情報を入力し、理解し、活用できる力を身につけるツールとしての「ヘルスリテラシー」
⇒ 住民のエンパワメントという視点から重要な取り組み

・ 健康の社会的決定要因、脆弱な集団への影響に着目した「健康影響評価（HIA: Health Impact Assessment）」を専門家の手から、住民の手に取り戻す試み ⇒ 地域に根ざした健康影響評価（CHIA: Community Health Impact Assessment）

2015/1/15

10

4. 地域固有の資源を地域で活用する

現状：自然に寄り添うように生きてきた人々が、最初に、しかも、最も深刻な犠牲を引き受け生活している。 ⇒ 「公害のあるところに差別が生まれるのではなく、差別や偏見のあるところに公害が起きる」（原田正純）

・ 地域の資源としての太陽光、水、風、土、鉱物、森林、川/海などの自然資本の活用を地域住民の手で行うことによって、地域の持続可能性を、「環境」、「地域経済」、「社会的公正」の3つの側面から高めて行くこと

⇒ 森下直紀氏（2014年度水俣学講義 第13回）
“コモンスの管理が機能する条件”

2015/1/15

11